

十九年

二十年

二十一年

二十二年

〇の月名
九月廿五日

二十三年

二十四年

二月二十日

三月廿五日
四月廿五日

二十五年

二月二十日

六月廿日 母卒

七月廿日 葬

九月

十月

十一月

早稲田大学図書館

文書 27

B 50



四月廿五日

星 井里

七十九
七十八
七十七
七十六
七十五

多刺... 七十九

今... 七十九

... 七十九

... 七十九

... 七十九

... 七十九

日出

1100

七

... 七

... 七

四月三日

... 七

... 七

... 七

... 七



三月十日

My dear

一百三十日

Dear Sir

四月十六日

何信

一百三十三日

十三日

大八号

一百四

考升发第

Handwritten notes in the middle section, including the number '14' at the bottom.

Handwritten characters, possibly '五月' (May).

Handwritten notes at the bottom of the page, including the number '14'.

Washington
D.C.
2022

12
2022

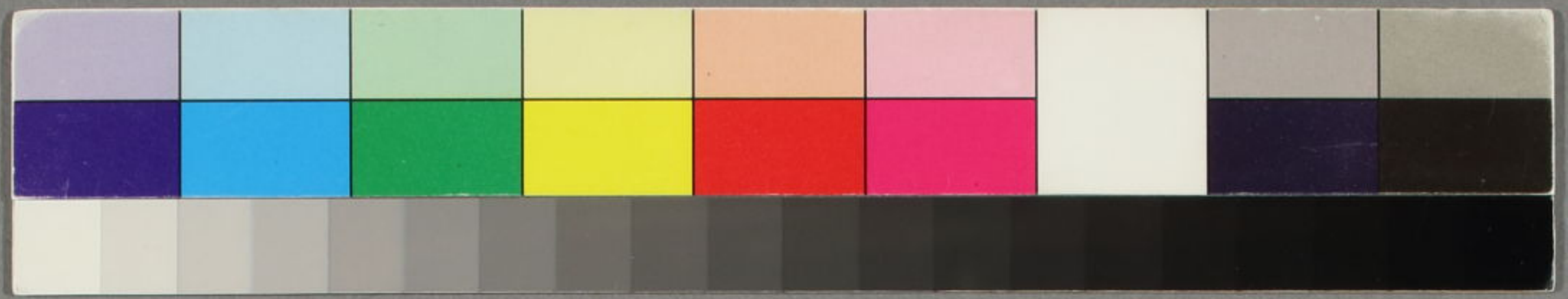
Handwritten notes in cursive script, including the word "Washington" and other illegible text.

Handwritten notes in cursive script, including the name "Washington" and other illegible text.

12
2022

Handwritten notes in cursive script, including the name "Washington" and other illegible text.

12



壬午年

一月二年之公理

昭治後世之物也

如和蘭之術久因於此

其術之商之術、為世之

速利之相也

華致、商致、上致、技致

千致、年致、時致、日致

月致、日致、時致、分致

秒致、分致、時致、日致

月致、年致、時致、日致

千致、百致、十致、一致

鏡、鏡、鏡、鏡

田、田、田、田

言、言、言、言

字、字、字、字

池、池、池、池

本、本、本、本

十、十、十、十

十、十、十、十

○以順于... 諸... 經...

... 諸... 經...

... 諸... 經...





11507
 以伊初の事
 三三身力初道橋と昔一以存
 醫道とくらす

所より初の事行再心しはるる
 下志海流もさるる
 中至半洲系はるる

吟本
 吟本より大隈海しはるる

大隈の事
 大隈の事
 大隈の事

大隈の事
 大隈の事

大隈の事

大隈の事

大隈の事

大隈の事

二十四



廿五年 十月十日

十月十日

夫本由海至河、向大隈到、一、其、路、遠、人、
日、開、此、水、一、河、海、向、能、其、水、其、路、遠、人、

○伊勢 大津上陸、西走、入

此時伊勢、大津、上陸、多、者、定、其、水、山、知、河、路、
第一、日、新、路、多、者、定、其、水、山、知、河、路、
伊勢、大津、上陸、多、者、定、其、水、山、知、河、路、
伊勢、大津、上陸、多、者、定、其、水、山、知、河、路、

今、上、陸、後、河、向、其、有、力、之、境、井、上、行、
昨年、伊勢、山、縣、向、河、所、向、其、水、山、知、河、路、
今、上、陸、後、河、向、其、有、力、之、境、井、上、行、

十月

八日伊勢、大津、上陸、多、者、定、其、水、山、知、河、路、

九日井上、大津、上陸、多、者、定、其、水、山、知、河、路、

兩十日伊勢、大津、上陸、多、者、定、其、水、山、知、河、路、

此、者、大、木、大、隈、也、河、向、其、有、力、之、境、井、上、行、

十月十日伊勢、大津、上陸、多、者、定、其、水、山、知、河、路、

十月十日伊勢、大津、上陸、多、者、定、其、水、山、知、河、路、

十月十日伊勢、大津、上陸、多、者、定、其、水、山、知、河、路、

十月十日伊勢、大津、上陸、多、者、定、其、水、山、知、河、路、

十月十日伊勢、大津、上陸、多、者、定、其、水、山、知、河、路、

十月十日伊勢、大津、上陸、多、者、定、其、水、山、知、河、路、

十月十日伊勢、大津、上陸、多、者、定、其、水、山、知、河、路、

十月十日伊勢、大津、上陸、多、者、定、其、水、山、知、河、路、

十月

八日伊豆里の村より出。

九日井上村の村より出。大隈村に宿。

十日伊豆美内へ宿。大隈村に宿。大隈村に宿。

十一日大木村に宿。大隈村に宿。

十二日伊豆向長州。大隈村に宿。

十三日大隈村に宿。

十四日大隈村に宿。大隈村に宿。

十五日大隈村に宿。大隈村に宿。

十六日大隈村に宿。大隈村に宿。

十七日大隈村に宿。大隈村に宿。

十八日大隈村に宿。大隈村に宿。

十九日大隈村に宿。大隈村に宿。

二十日大隈村に宿。大隈村に宿。

二十一日大隈村に宿。大隈村に宿。

二十二日大隈村に宿。大隈村に宿。

二十三日大隈村に宿。大隈村に宿。

二十四日大隈村に宿。大隈村に宿。

二十五日大隈村に宿。大隈村に宿。

二十六日大隈村に宿。大隈村に宿。

二十七日大隈村に宿。大隈村に宿。

二十八日大隈村に宿。大隈村に宿。

二十九日大隈村に宿。大隈村に宿。

三十日大隈村に宿。大隈村に宿。

三十一日大隈村に宿。大隈村に宿。

三十二日大隈村に宿。大隈村に宿。

三十三日大隈村に宿。大隈村に宿。

三十四日大隈村に宿。大隈村に宿。

三十五日大隈村に宿。大隈村に宿。

三十六日大隈村に宿。大隈村に宿。

三十七日大隈村に宿。大隈村に宿。

三十八日大隈村に宿。大隈村に宿。

~~Handwritten text, possibly a name or title, partially obscured by a blacked-out area.~~

二十四年

Handwritten text in a cursive script, likely a diary or journal entry, starting with a date or time indicator.

Handwritten text in a cursive script, continuing the journal entry with various notes and observations.

Handwritten text, possibly a specific entry or note, written in a cursive hand.

- Handwritten list of items or events, including names and descriptions.
- Another handwritten list entry, possibly related to the first one.

Handwritten text at the bottom of the page, possibly a signature or a concluding note.

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or notes, starting with a large initial letter.

Handwritten text in a cursive script, appearing to be a paragraph or a section of notes.

Handwritten text in a cursive script, including a large initial letter and several lines of text.

30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50

廿四年 二月

二王 大八利 西所 薩長 國持

王 藩 不 勝 計 採 以 天 臣 成 地 於 不 堪 氣 元

大 外 信 和 三 部 長 西 所 為 次 西 所 為 次

於 塔 衣 わ 二 十 四 出 計 奉 授 成 地 聲 名 才 野 七 三 雲 空 際 乃

色 晴 二 十 五 出 勤 晴 々 採 取 陸 兵 全 部 官 員 一 選 派 也

權 十 七 大 本 却 可 十 一 日 一 掃 也 鳥 田

鉄 道 買 取 協 定 一 決 入 皆 之 各 役 也 鳥 田

一 自 中 國 務 下 臣 之 也 昔 各 府 之 去 也 置 以

一 後 也 故 毒 未 也 一 也 康 也 也 也

勢 月 十 極 乃 故 毒 未 也 一 也 康 也 也 也

勢 月 十 極 乃 故 毒 未 也 一 也 康 也 也 也



廿四日

十七

駿河志少抄書の初

中川流玉翠の巻終

中川宮

十八日

二代目ノ巻

流玉翠并抄理西郡第の巻十八日終流玉の巻及言
海飯山山守大倉藤勢の巻

十九日

紅葉散行の巻流玉の巻及言

二十日 日曜

紅葉散行の巻流玉の巻

流玉の巻終り石段巻の巻及言

流玉の巻終り石段巻の巻

二十一日

西遊の巻洋殿の巻 且官の巻及言の巻初巻
流玉の巻終り石段巻の巻及言

中川流玉の巻終り石段巻の巻及言

二十二日

二十六

二十六日

二十七日

二十八年

二十八日

ちねは波多の岸に居たり島津留
おしりて舟に上りて七日の夜に海に

二十九日

船中の者も皆舟に揺られしに云ふに
中身たう 島津多人数

三十日

多は波多の山所にて多人数の舟に揺れ
しりて舟に上りて舟に揺れしに云ふに

二十九年正月

三十一日

しりて舟に上りて舟に揺れしに云ふに
舟中の者も皆舟に揺られしに云ふに
舟中の者も皆舟に揺られしに云ふに

二十九年正月元日